

INAKEN PRESS

稲津けんご通信

編集・発行: 稲津けんご後援会 編集責任者: 稲津 憲護

〒183-0041 東京都府中市北山町2-26-15

☎(042)806-9777 Mail: inazu.kengo@gmail.com



～曲げない 負けない あきらめない～

誰も見捨てない地域社会に

2015年8月号

これでいいのか? 今後の安保関連法案

現在、国会で審議されている安全保障関連法案をめぐる動きについて、稲津けんご氏宛に多くの市民の皆様から要望が寄せられています。

先に行われた府中市議会でも、「安全保障関連法案の今国会での成立を断念するよう求める意見書」が提案されましたが、自公を中心とする議員によって否決されました。

この意見書に反対した議員の発言は「日本の憲法はアメリカがつくったもので、これがいいのかどうかを審議すべきと考え、反対する」という主旨で、意見書の内容に対する論点とは全くずれていました。

戦後70年という節目を迎え、改めて日本国憲法の意義と目指すべき国のあり方、また国家の権力を縛る法制度を再認識する時でもあるでしょう。しかし、法律を安易に変えることが果たして良いことなのか、それ以上に「真」を国民全体が納得出来る形で示しているのか等、深く考える必要があります。

「戦争を知らない世代が多いからこそ、この問題に真剣に向き合うべきだ」と稲津氏は話しています。



西原町のまちづくりを考える集会開催

4月の府中市議選に再選後、初となる「タウンミーティング」を稲津氏の地元・府中市西原町で開催いたします。

今回は、これまでの議会活動の様子や、9月に開催される議会に向けての意見交換などを行いたいと考えています。また、これから着工へと進んでいる「東八道路」についても、皆様と一緒に考える時間を設ける予定です。

ご多忙中かと存じますが、多くの方のお越しを心よりお待ちしております。

稲津けんご・タウンミーティング

テーマ: 地域まちづくり

日時: 2015年8月30日(日) 午後2時より

場所: 西原町自治会館

府中市西原町3-13-36

【ちゅうバス】西原町バス停より徒歩13分

【JR南武線】谷保駅より徒歩15分

※ 駐車場はございません。

会費: 無料

お問合せ: この面の電話番号またはEメールへ

人いす コラム 車いすから見た世界 人いす

No.2 子どもと同じ目の高さ

車いすに座ると物の見え方が変わります。立っている時よりも30cm以上低くなるため、見慣れた風景にも戸惑う場面もありました。

普段であれば難なく避けられる木の茂みや看板が目前に迫り、ヒヤッとすることも多くありました。これらを避けようにも車いすだと、サッと身をかかわすことも出来ません。

また、少し見上げれば見えていた標識や信号が見えにくくなったとも感じました。

車いすに座った時の背の高さは、子どもが立った時の高さに近いです。大人だと危険を予測する力も高いかもしれませんが、子どもだと「とっさの判断力」が高いとは言い切れません。

車いすに座りながら、子どもだと木の茂みや看板をよけ切れなかったり、標識に気づかなかつたりして、事故につながるケースも多いのでは?と考えるようにもなりました。

同時に、よく言われる「バリアフリー」にとられない「まちづくり」が必要であるとも痛感しました。

✎ ルールを守って「夏祭り」を楽しもう

7月後半から各地で夏祭りが開かれています。歩くりハビリを進めている稲津氏も、7月19日(日)の武蔵台文化センター祭りでは子どもみこしに同行しました【写真左】。

府中市では、今年6月に現職議員が祭りでの寄附行為で起訴されました。政治家が選挙区内の祭りでの寄附や差し入れを行うことは法律で禁じられています。これを受けて府中市議会でも綱紀粛正に決議がなされました。

「ルールを守って正しく楽しむ」

これからもずっと求められることでしょう。



稲津けんご

【プロフィール】

1968年北山町生まれ。
(現在は西原町在住)

1999年から3期12年にわたり府中市議会議員として活動。その後、父の介護や民間での勤務を経て、2015年の選挙で再選。一時ケガで車いす生活を送るが、その経験も活かして「誰にでも優しい府中のまちづくり」に取り組んでいる。



スタッフのつぶやき

今年も暑さが厳しくなっています。屋外は勿論、屋内に居ても熱中症になることがあると言われています。水分補給や温度調節を適宜、行いましょう。

さて、稲津けんご事務所では8月12日(水)から同16日(日)までお盆休みをいただきます。その後は次の定例会などの準備が待ち構えています。(Y. K.)